

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立大阪城音楽堂
施設所管課・担当	教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習担当
条例上の設置目的	市民の情操教育及びレクリエーション運動の普及向上を図るため、音楽の演奏その他行事を行うことを目的とする。
業務の概要	大阪城音楽堂の管理運営業務 大阪城音楽堂の利用案内・受付、要望・苦情対応、音楽堂内施設管理、関係機関等との各種連絡調整など、音楽堂の貸出に関する業務等を実施
成果指標	年間利用件数・満足度(「満足」・「やや満足」との合計)
数値目標	年間利用件数100件以上、満足度85%以上
指定管理者名	大阪城パークマネジメント共同事業体 構成員：大阪城パークマネジメント株式会社 株式会社電通 関西支社 讀賣テレビ放送株式会社 大和ハウス工業株式会社 大阪本店 大和リース株式会社 株式会社NTTファシリティーズ
指定期間	平成27年4月1日～令和17年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用件数	満足度
数値目標	100件	85.0%
年度実績	114件	95.0%
達成率	114.0%	111.8%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	117,468人	101,328人	16,140人
利用件数	114件	101件	13件
稼働率	51.1%	58.0%	-6.9%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績－計画)	主な要因
業務代行料	実績	—	—	—	
	計画	—	—		
利用料金収入	実績	48,791,138	44,467,825	-5,908,862	有料イベントが見込みより少なかったため
	計画	54,700,000	46,360,000		
その他収入 (自主事業収入)	実績	5,324,546	4,640,000	124,546	大阪城音楽堂フェスティバル(協賛金・入場料)収入の増
	計画	5,200,000	4,200,000		
営業外収益	実績	2,077	11,635		雑収入
	計画	—	—		
合計	実績	54,117,761	49,119,460	-5,782,239	
	計画	59,900,000	50,560,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績－計画)	主な要因
人件費	実績	23,028,280	18,874,141	3,690,280	人件費の高騰によるもの
	計画	19,338,000	19,944,000		
物件費	実績	49,292,841	36,265,084	-5,192,159	水道光熱費・修繕費の減
	計画	54,485,000	34,239,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	7,106,064	4,640,000	-93,936	大阪城音楽堂フェスティバル
	計画	7,200,000	4,200,000		
営業外費用	実績	4,825	3,190	4,825	共通費用
	計画	—	—		
合計	実績	79,432,010	59,782,415	-1,590,990	
	計画	81,023,000	58,383,000		

令和6年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
年間利用件数(100件)	114.0%	A	工事による休館があったが、昨年同様目標達成できている。
満足度(85%)	111.8%	A	主催者（21名）へのアンケート、母数は少ないが目標は達成できている。

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
人件費の高騰などにより、売上原価等が上昇し、予定より大きく赤字となったが、大阪城パークマネジメント共同事業体としては、本市への納付金を納めることができた。	B	今年度も昨年度に引き続き自主事業として音楽堂フェスティバルを実施、和太鼓イベント等、大阪城園地全体を一体化させるイベントを実施。閑散期には音楽堂内部の補修を行うなどし、歴代2位の売上となったが、人件費高騰などにより赤字解消には至らなかった。

（3）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	A	今年度も本市によるLED化工事等の改修工事を行い、環境改善を行った。また利用者の満足度も上がった。
	事業計画の実施状況	A	概ね事業計画に沿った事業実施を行い、利用者が使いやすい運営に努めた。
	施設の有効利用	A	令和7年度からミーティングルームに合わせて小ホールの貸出を行う等、施設の有効利用に取り組んだ。また、他施設や他事業と連携したイベントを企画するなど、施設の有効利用について積極的な取り組みができている。
社会的責任・市の施策との整合性		B	職員の人権研修の実施。また個人情報その他の文書を適切に管理しており、一定評価できる。

5 利用者ニーズ・満足度等

・今年度も主催者へアンケートを行い、総合的な満足度は95%を達成している。
・要望に寄り添った施設の有効利用の取り組みや軽量素材の長机への買い替えなど、利用者ニーズに答えている。

6 外部専門家意見

<大阪城公園パークマネジメント事業共通> ・国において訪日外国人旅行者数の増加目標が掲げられている中、各施設において、さらなる来園者の増加に伴う混雑緩和や満足度向上が課題となることを見据え、魅力的なナイトコンテンツ及び閑散期における恒例イベントの実施による時間・時期的分散並びに公園施設全体の魅力向上によるエリア内の分散化を図り、国際的な観光地”と“市民が誇れる観光地”をめざしてほしい。 ・収支計画と実績の乖離について、次年度の計画策定時に実績に即した精緻な計画を立て、乖離の縮小に努めてほしい。
<大阪城音楽堂> ・収支状況の支出において、計画と実績に乖離があることが気がりである。計画が実態に即していないのであれば、より精緻に計画の見直しと改善が求められる。 ・設置目的を踏まえると、赤字施設であることはやむを得ない面もあるが、大阪城公園内外の他の施設との連携をさらに図り魅力向上に努めてもらいたい。 ・公園内の音楽堂の案内表示について、もう少しわかりやすく改善すべきである。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	目標は達成できている。

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

市費の縮減	B	音楽堂単体では赤字であるが、大阪城公園全体では納付金を納めており評価できる。
管理運営の履行状況	A	今年度も、施設改修や備品購入のほか、利用者の満足度を高める努力をしている。また他施設と連携したイベントの企画等積極的な取り組みができており評価できる。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	A	利用者の満足度についても総合満足度が95%など、利用促進に向けたサービス向上などの努力が反映されており、評価できる。 今後も更なる利用促進に向け、一層の努力を期待する。